



平成 19 年 8 月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社ネットプライスドットコム
代表者名 代表取締役社長 兼 佐藤 輝英
グループCEO
(コード番号 3328 東証マザーズ)

当社親会社

会 社 名 株式会社サイバーエージェント
代表者名 代表取締役社長 藤田 晋
(コード番号 4751 東証マザーズ)

平成19年9月期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年4月26日付け「平成19年9月期業績予想の修正及び事業再構築計画に関するお知らせ」及び平成19年5月7日付け「平成19年9月中間決算短信」にて公表した平成19年9月期通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成19年9月期 通期業績予想数値の修正（平成18年10月1日～平成19年9月30日）

(1) 連結

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 12,500	百万円 1,300	百万円 1,400	百万円 1,800
今回修正予想(B)	13,000	500	750	950
増減額(B-A)	500	800	650	850
増減率(%)	4.0%	61.5%	46.4%	47.2%
(ご参考) 前期実績(平成18年9月期)	12,934	217	174	363

(2) 個別(持株会社)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,500	百万円 70	百万円 70	百万円 20
今回修正予想(B)	4,500	15	25	350
増減額(B-A)	-	55	45	330
増減率(%)	-	78.5%	64.2%	-

前期実績は会社分割により比較できないため記載を省略しております。

2. 修正の理由

(1) 連結

当社グループでは、平成19年4月26日に事業再構築計画を発表し、フロー型リテールモデルへの回帰、固定費の大幅な削減、グループ内不採算事業からの撤退等に取り組んで参りました。

ギャザリング事業においては、回転数重視の商品戦略により、在庫を持たないフロー型リテールモデルにシフトし、同時に、非効率な売り場の統合にも取り組みました。急速な事業モデルの転換にも関わらず、これらの施策による売上高減少の影響は予想よりも小さく推移しております。

また、固定費の削減につきましても予想より早期に進展し、見込んでいた事業再構築損失は143百万円と予想の約50%に留まる見込みであります。

一方、インキュベーション事業においては、中間期まで連結営業損失に大きく影響していた連結子会社、株式会社エムシープラスの資本構成の見直しを行い、株式の売却等(売却益67百万円)で持分比率を45.9%から13.6%に低下させました。その結果、持分法による投資損失の影響額が減少する見込であります。

さらに、第4四半期には、事務所の統合、広告宣伝費、販売促進費等の固定費削減施策が、予想よりも前倒しで寄与してくる予定であり、業務改革による生産性の向上にも、一層取り組んで参ります。

以上の結果、平成19年9月期の売上高は13,000百万円、営業損失は500百万円、経常損失は750百万円、当期純損失は950百万円と、特に損失額が改善される見込みであります。

(2) 個別(持株会社)

事業再構築計画実行にあたって、グループ全体の組織再配置を行った結果、持株会社の費用構造が若干変更されたことに伴う営業利益、経常利益予想の修正のほか、出資先企業の減損リスクを保守的に見積もった結果、当期純損失を修正するものであります。

以上

ご注意：本資料に記載されている業績予想は、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

問い合わせ先：	株式会社ネットプライスドットコム	コーポレート本部	
	取締役CFO 兼 コーポレート本部長	中村 浩二	03-5739-3350
	株式会社サイバーエージェント	広報・IR室	03-5459-0227